



岡山県原水協通信

2007年7月24日 No 12
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市西島田町 4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

竹内総社市長、「すみやか署名」にサイン 服部議長、吉富助役なども



あいさつされる竹内総社市長(7月23日)

国民平和行進県内8日目は、従来「吉備路平和行進」として市民生協の皆さんと歩いてきたコース。23日午前9時30分、コープ総社店を出発した行進団は、市民生協の参加者を含め総勢110人。総社市役所での到着集会には日曜日にもかかわらず竹内市長、服部市議会議長等市の幹部の皆さんが出迎え、行進団を激励してくださいました。

竹内市長は「譲り合う、分かち合う気持ちで行政にあたっている。これは

平和に通じる考えだ」と挨拶。服部議長は「終戦の時、自分は小学1年生。父親はニューギニアで戦死した。身をもって平和の大切さを痛感している」と挨拶されました。

竹内洋二市長、吉富陸夫助役、丸山光雄総務部長、服部剛司市議会議長の自筆の「すみやか署名」とペナント、募金が行進団に託されました。

この日の行進は清音支所から倉敷市真備町へ。最後に豪雨に見舞われましたが無事真備支所に到着しました。

車椅子で行進団を歓迎

7月22日はめずらしく晴天に恵まれた1日でした。倉敷市役所の出発式には三宅総務部長が「恒久平和は人類共通の願いです。平和都市宣言宣言にそった平和行政をすすめていきたい」とあいさつされ市長のペナントを行進団に渡されました。

午後の水島健寿協同病院前には入所中の皆さん約100人が歓迎横断幕をかかげ車椅子に乗って行進団を迎えてくださいました。自ら戦争体験を持つ高齢入所者の皆さんの平和の願いを込めた折り鶴が行進者に託されました。



上・健寿協同病院までで車椅子の入所者から激励の折鶴が
下・高梁川にかかる霽橋を渡る行進団 いずれも7月22日

行進を支える裏方さん ありがとうございます。

平和行進が無事に進んでいる裏には行進を支える「裏方」のみなさんの奮闘があります。地域の9条の会、岡山、倉敷医療生協、新婦人のみなさんなど多くの方々が昼の食事(カレーやオニギリ、ソーメンなど)休憩場所で湯茶の接待を担当して下さり行進団は元気に歩き続けています。ありがとうございます。



左の写真説明・(上からいずれも7月22日のコースです)
新婦人水島支部の皆さん、連島公民館で。倉敷医療生協水島支部、同船穂支部の皆さん

参加登録を急いで!

世界大会の参加登録を急いで下さい。事務局には県人権連、高教組、県民医連、美作原水協から21名の申し込みがあります。宿舎の確保の都合もあり集約を急いでいます。ご協力を。



世界大会の代表登録を急いで